ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成26年 8・9月合併号
No.268

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

第2次安倍改造内閣が発足
二ノ湯参議員総務副大臣

高市大臣と地方の元気に取り組む

安倍首相は9月3日、自民党役員人事及び、内閣の改造を行った。今回の人事で注目されたのは、石破茂幹事長の去就であった。幹事長として残るのか、重要閣僚への転進か、それとも無役となって、来年秋に予定される総裁選に臨むのか。改造前から色々な憶測が飛び交った。結局、石破氏は安倍内閣の重要施策である地方創生を担当する地方創生担当相として入閣することになった。石破氏は就任後、マスコミ等で、安倍首相を支えるのが自分の責任であると発言、来年の総裁選挙には出馬しない方向を示唆した。今回の改造で、安倍首相は閣僚に5人、党4役である政調会長に稲田朋美氏を登用して、女性議員に活躍の場を与え、女性重視の姿勢を示した。党運営の要である幹事長には谷垣禎一氏を起用した。なお、二ノ湯智参議院議員は、高市早苗総務大臣の下で、総務副大臣を務めることになった。

認証式を終えて首相官邸で(3列目左端、二ノ湯議員)

恒心

★私は昭和19年生まれ、9月に古希を迎えました。自分では全くその気がなくても、役所から敬老乗車証の申請書類、町内会での老人扱い等々厳然たる事実があります。古来まれなるとは数千年前の話。今の70才は、まだまだ人生修行中のはな垂れ小僧です。★遠い昔を振り返りながら、高校時代の思い出を綴ってみたい。昭和35年4月に、京都市立西京高校に入学しました。西暦でいえば1960年。日本の国論を二分した日米安全保障条約の改定の年です。★高校1年生の私には、この条約のどこが問題なのか良く分りませんでした。クラスの中には早熟な生徒がいて、安保反対のデモに参加したり、反対のビラを作成したりしていました。安保条約は6月中旬には、自然承認となり、騒然とした雰囲気も収まってきました。★7月に池田内閣が誕生しました。所得倍増、月給倍増の内閣のキャッチフレーズは多くの国民に夢と希望を与えました。11月には米国で若き大統領ケネディが誕生しました。ケネディが好きで、彼の就任演説での「国があなたに何をするかを問うのではなく、あなたが国に何ができるかを問いたまえ」の一節に感銘、英語で暗唱しました。★私たちの頃は、高校3原則(小学区制、男女共学、普通科と商業科を併設の総合制)が実施されていました。3原則が京都の生徒の学力低下を招き、京大はじめ国、公立への進学が少ないと批判されていました。しかし、当時の西京には多種多様な階層の生徒がいて、友情を深めることが出来ました。今も多くの友人と付き合っています。かっての教育制度もそれほど悪くなかったなと思う昨今です。卒業して50数年、「光陰矢のごとし」とはよく言ったものです。

二ノ湯参議院議員総務副大臣に就任
かねてより希望のポスト

9月3日に内閣改造が行われた。翌日、4日に副大臣、政務官人事が行われ、二ノ湯議員は総務副大臣に就任することになった。今回の改造人事で、自民党参議院側から副大臣に就任したのは4人であった。二ノ湯議員は平成19年8月、福田内閣の時、総務大臣政務官を務めたことがある。京都市会議長、全国市議会議長会会長を経験した二ノ湯議員にとっては、総務省は非常になじみの深い役所であり、総務省の仕事も多少解っており、総務省で働くことは、本人の希望でもあった。総務大臣の高市早苗氏は奈良県選出であり、従来から顔見知りであり、お互い関西弁で気楽に語り合える間柄である。総務副大臣は2人制であり、もう一人は西銘恒三郎衆議院議員（沖縄）である。二ノ湯副大臣の職務範囲は、行政管理、行政評価、統計、恩給、地方行政、地方財政、地方税制、消防に関すること。非常に範囲が広く、忙しい毎日が続きそうである。総務省には、2名の総務副大臣の他、3名の総務大臣政務官が置かれ、大臣、副大臣、政務官の6名で総務行政全般を担当する。

高市大臣を囲んで、
副大臣、政務官（総務大臣室で）

厳粛な雰囲気の副大臣認証式
責任の重さを実感

副大臣は内閣総理大臣が任命し、天皇が認証する認証官である。そのため、認証官は皇居に赴き、天皇から認証してもらう必要がある。4日夕方、男性はモーニング、女性はロングドレスを着用した副大臣は、全員首相官邸に集合し、一斉に皇居に向かった。坂下門から皇居に入ると、身も心も引き締まる。副大臣が控の間である「千鳥・千草の間」に入ると、既に安倍首相が待機していた。認証式は失敗がゆるされない。そのため副大臣は、任命式が行われる「正殿松の間」にて、習礼（予行演習）を行った。正式の任命式では、副大臣は一人ずつ「正殿松の間」に入る。先ず、入口で一礼、すぐに陛下の前に進み一礼、斜め前の総理大臣から官記（天皇が署名された任命書）を受領、後ずさりして、陛下の方に向きを変えて一礼。陛下より、「重任ご苦労に思います」との言葉があり、再度一礼する。そして、3歩後退して、また向きを変え、出口まで進み、出口でまた陛下の方に向きを変え、一礼して退場する。認証式終了後、「千鳥・千草の間」において記帳する。これら一連の所作はそれほど難しいものではないが、緊張しているために、非常に気を使う。認証式は厳粛な、緊張した雰囲気の中で行われるために、副大臣としての自覚が高まり、責任の重さを実感する。

官邸で任命式の説明を受ける

初副大臣会議が開かれる

皇居での認証式を終え、首相官邸に帰って、総理を囲んでの記念撮影があった。その後、官邸会議室で、初副大臣会議が行われ、冒頭、安倍首相から、次のような挨拶があった。

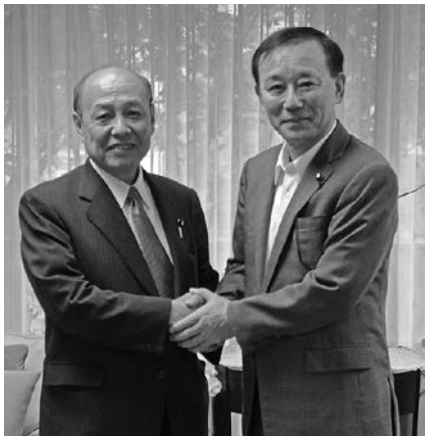
「安倍内閣は、「危機突破内閣」として発足以来、安定的に政策を進め、東日本大震災からの復興、教育の再生、社会保障制度の改革など各般の課題に全力で取り組んでまいりました。ただ、私たちの改革は、まだ道半ばであります。新たな課題に挑戦し、大胆に、かつ、力強く実行していかなければなりません。引き続き、「復興の加速化」はもとより、「経済最優先」で、景気回復の実感を、必ずや全国津々浦々にまで届けることが、次なる安倍内閣の使命であります。また、「地方の創生」、「女性が輝く社会」、「外交・安全保障の立て直し」、「防災」など我が国が抱える困難な諸課題への取り組みを更に加速させるため、本日、新しい副大臣の皆さんを任命させていただきました。

各副大臣には、「実行実現内閣」の推進力となるよう、その役割を十二分に果たして頂きたいと考えています。大臣政務官と連携しつつ、部下である官僚との適切な信頼関係を築き、各府省の持てる力を存分に発揮できる環境を作り、大臣をサポートし、国政運営に当たっていただくようお願いします。各位が、持てる力すべてを職務の遂行に注ぎ込み、一丸となって国家国民のための政治に尽力されることを期待して、私のあいさつといたします。」

初副大臣会議

谷垣禎一氏幹事長に
意外、だがふさわしい人事

今回の党役員人事、内閣改造では、石破氏の処遇を巡る騒ぎが大きい中で、次期幹事長に誰がなるのか、余り関心が向いていなかった。それにしても、総裁経験者である谷垣氏の幹事長起用は意外であった。誰もが予想していなかった。自民党の野党時代とは言え、谷垣氏は総裁経験者である。しかし谷垣氏は、政治の師匠である宮沢喜一氏が、既に首相を経験していたにも関わらず、小渕内閣で大蔵大臣に就任し、小渕首相を支えたことを教訓に、党の置かれた厳しい状況を考え、敢えて安倍首相の要請を受け入れ、難しい党運営の重責を担うことになった。間近に福島知事選、11月には内閣の命運を賭ける沖縄知事選、来年春には統一地方選が控えている。しかも年内には消費税を10%に増税するのか、延期するのか決断の時である。谷垣氏にとって難題の連続であるが、深い見識、誰からも信頼される人柄で難しい難局を乗り切って貰えるものと多くの人は期待している。9月10日、二ノ湯参議員は、総務副大臣の就任挨拶と谷垣幹事長への表敬のため、党本部幹事長室を訪ねた。


谷垣幹事長と(党幹事長室)

総務大臣・副大臣・政務官交代式

幹部職員を前に就任挨拶をする

9月5日午後、総務省地下講堂で、新旧の政務3役の交代式が行われた。多くの幹部職員が出席、去る人、新しく就任する人が、挨拶をした。二ノ湯副大臣は「京都市議会議長の時から、地方分権、町村合併が叫ばれ、それが実現すれば、真の地方の時代がやってくると言われた。しかし、現実は地方が衰退し、消滅すら語られ始めている。地方の再生のために、皆さんと一緒に頑張っていきたい」と挨拶した。

参議院選挙制度改革
脇座長改革案を提示

9月11日参議院選挙制度改革協議会が開催され、脇座長は10選挙区を5に統合する改革案を提示した。この案によると、1票の格差は、2.481倍となる。合区となるのは、(長野、山梨)(滋賀、福井)(鳥取、島根)(徳島、高知)(福岡、佐賀)の10県である。次回の協議会は10月31日に開催することになっている。脇座長は各会派に対して、それまでに「座長調整案」について検討し、次回の協議会で各会派の意見や別の案を出して欲しいと要望した。選挙制度改革は議員の政治生命に関わるだけに、改革を取りまとめるのは、大変な労力を必要とする。しかし、参議院議長より、年内に改革案をまとめてほしいと要請されている。残された時間は多くない。

参議院自民党幹事長に伊達忠一氏
しこりを残した交代劇

自民党参議院議員団の会長は、議員団所属議員の選挙によって選出される。任期は3年間である。幹事長は会長指名で、議員総会で了承を得ることになっている。規約では任期は1年であるが、再任は妨げない。脇幹事長は昨年8月に就任以来、「与野党の選挙制度協議会」座長として、最高裁から厳しく指摘されている参議院選挙制度の改革に熱心に取り組んできた。脇氏が4月に22府県の選挙区を11選挙区にする合区案を提示した。ところが、この案が提示されることを溝手会長が事前に知らされていないことから問題がこじれ出してきた。会長の脇氏への怒りに加えて、合区対象の議員から脇氏への不満が大きく高まってきた。9月12日に開かれた参議院自民党特別総会で、溝手会長は脇氏の再任提案をせず、新しい幹事長に伊達忠一氏(北海道選挙区)を指名し、議員団の了承が得られた。しこりを残した交代劇であった。

5人の府・市会議員勇退を表明
後継者の選考、公募方式を採用

来年の統一地方選挙を控え、自民党京都府連では、9月21日の選挙対策常任委員会で、京都府会、京都市会議員の第一次公認候補者を決定する。両議会での第一党の座を確保し、引き続き府政、京都市政での主導権を目指す。今回、京都府会で多賀久雄(宮津市及び与謝郡)、京都市会では、高橋泰一朗(伏見区)、内海貴夫(東山区)、大西均(左京区)、山元あき(右京区)の4氏が勇退を表明した。年齢、一身上の都合と勇退の理由は様々である。後継者の選出方法は原則として、公募方式を採用する。来年4月の統一選まで、半年余りである。来年を睨んで、現職、新人とも事前活動に取り組んでいる。現職議員の突然の引退表明によって、自民党として、1日も早く候補者を決定しなければ、議席の継承が非常に難しくなってくる。

10月執行大山崎町長選挙
山本圭一 議長を自民が推薦

山本圭一氏

自民党京都府連は7月27日、10月19日に執行される大山崎町長選挙で、現職議長の山本圭一氏（41才）の推薦を決定した。山本氏は平成18年10月に初当選、現在2期目で、昨年4月に議長に選出された。前回の町長選挙で、自民党は候補者を擁立することが出来ず、民主党と連合の推薦を受けた江下伝明氏が当選した。この4年間、自民党大山崎支部は町政奪還のため、町長候補者を模索していた。本命視されていた山本議長が「小さい町であるが、希望を持てる、誇れる大山崎にしたい」と出馬の意思を固めたために、さる4月に開かれた支部役員会で擁立、推挙することを決定した。大山崎支部は、山本氏を自民党推薦候補とするように、京都府連に申請していた。なお、現職の江下伝明町長は、8月26日に次期町長選に出馬しないことを正式に表明した。町長選には、いまのところ山本氏のほか、共産党の町議堀内康吉氏、市民団体代表竹内碩氏が立候補を表明している。

身辺雑記

一、蚊に刺され、デング熱に感染したと大騒ぎ。昔は蚊に刺されることは当たり前のことであった。夏になるとどの家庭でも蚊取り線香がたいてあった。美空ひばりのテレビコマーシャル「日本の夏、金鳥の夏」の言葉が懐かしい。

一、親ロシア派のミサイルによるとみられるウクライナでのマレーシア航空の撃墜事件。ロシアは撃墜の事実をもっと素直に認め、現場の検証にも親ロシア派を説得し、協力をするべきだ。大国にふさわしい態度をとる必要がある。

一、豪雨による土砂災害により、広島市で、多くの人命が失われた。大都会の広島で、何故こんな事故が起きるのか。山裾まで宅地開発が進んでいるが、宅地に適した土地であるのか、避難勧告は的確だったのか。反省材料は多い。

一、元民主党の国会議員石井一氏が、北朝鮮による拉致被害者は、「既に亡くなっている。帰国はあり得ない」と発言した。石井氏は第1回金丸訪朝団に参加した。本人は北朝鮮通を任じているが、拉致被害者家族などへの心情に配慮すべきだ。

一、佐世保市で起きた女子高校生による同級生殺人事件には驚いた。遺体をばらばらに切り裂くとは尋常の神経ではない。加害者の父親は弁護士、母親は東大卒。こんな立派な家庭に何故猟奇殺人を犯す子供が育ったのか、全く理解に苦しむ。

一、副大臣就任挨拶に、総務省に関係ある与野党の衆参300人の議員の部屋を訪ねた。2万歩以上歩いたが、日頃歩いているために、全く苦にならなかったし、疲れも感じなかった。まさに政治家は健康が第一である。

一、信じてその気になれば、救われる。ある醸造元の奥様から、「大根の葉、大根、人参、ゴボウ、干しいたけ」を煮て、そのスープを飲めば、ガンが治るといわれた。それを信じ、私の大事な人に飲んでもらっている。治ることを祈っている。

自民党政経文化懇談会のお知らせ

自民党京都府連主催「政経文化懇談会」を今年も開催させていただきます。
私たち自民党は、国民からの大きな期待に応え、安定した政権のもと「日本を取り戻す。」ため、山積する諸課題解決に、責任を持って取り組んで参ります。
時節がら、ご無理を申し上げ大変恐縮でございますが、是非ともご理解、ご協力を頂き、多くの皆様のご出席を賜わりますよう、宜しくお願い申し上げます。

◆日時　平成26年11月22日(土)
■午後1時から　時局講演会
（講師：京都大学大学院工学研究科教授 内閣官房参与 **藤井 聡**）
■午後2時30分から　懇親会
◆場所　国立京都国際会館（左京区岡崎公園）
◆会費　3万円

☆お問合せ、お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで
TEL075-315-2228　FAX075-315-2310

「日本真生塾」　例会のお知らせ

第49回 10月27日(月) 18時～21時
第50回 11月17日(月) 18時～21時
第51回 12月19日(金) 18時～21時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**
（京都駅八条口前アバンティ9F）

テーマ：『凸型西洋文化の死角』
近代西洋文明とは何か。
アジアの運命を定めた近代西洋文明について考察します。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：奥井寛之）
日本真生塾事務局（二之湯事務所内）TEL：075-351-2228／FAX：075-315-2310
詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228